

いずもぎき 議会だより

第114号

2022 令和4年4月25日

3月定例会

もくじ

令和4年度予算	2
当初予算目玉事業	4
予算審査特別委員会	6
議会のうごき	7
3月定例会	8
補正予算質疑	9
一般質問(8人が町政をたずね)	10
表彰・政務活動費報告	19
全員協議会	20
みんなの声	22

今日の漁はなじらね

出雲崎町議会
ホームページ



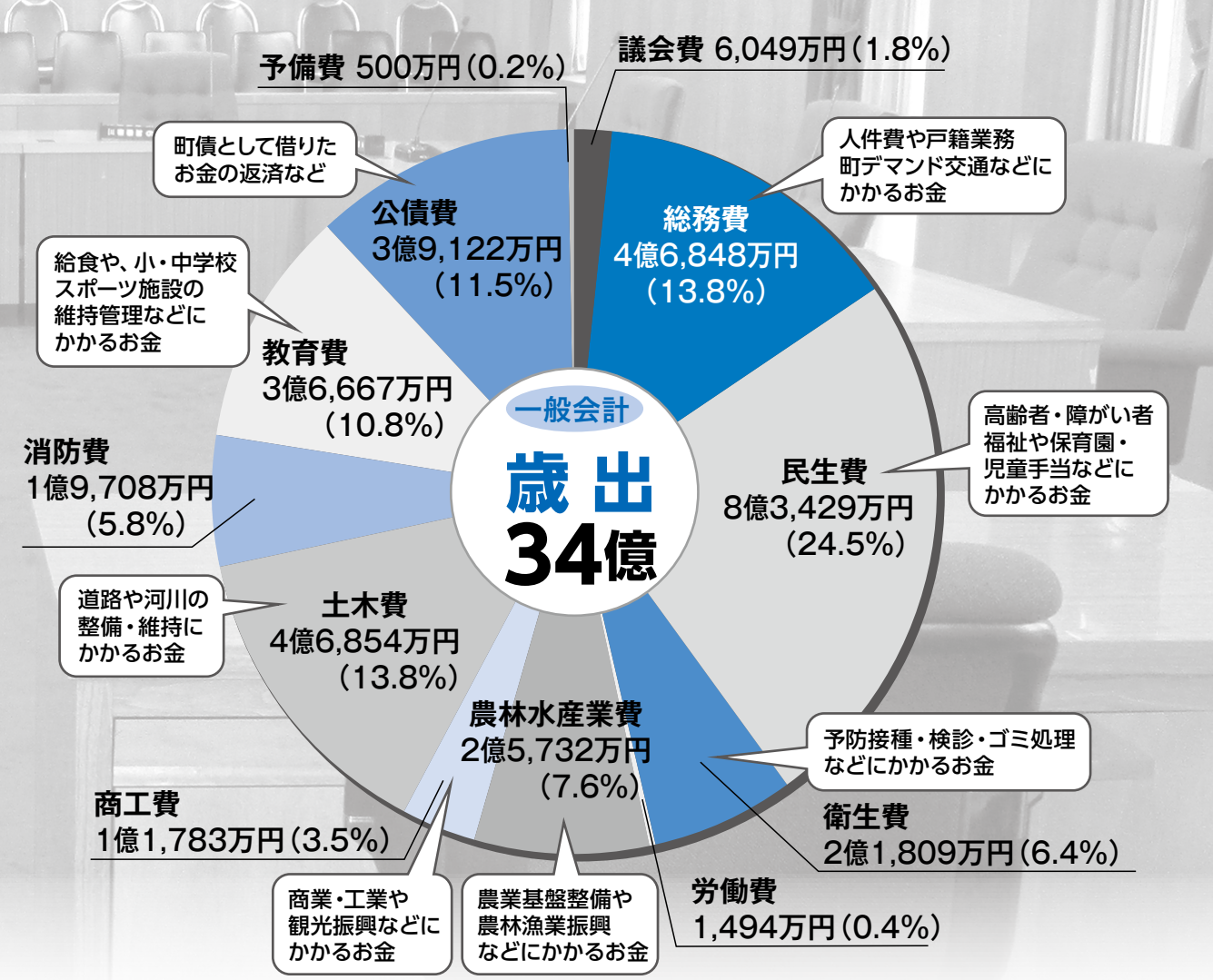
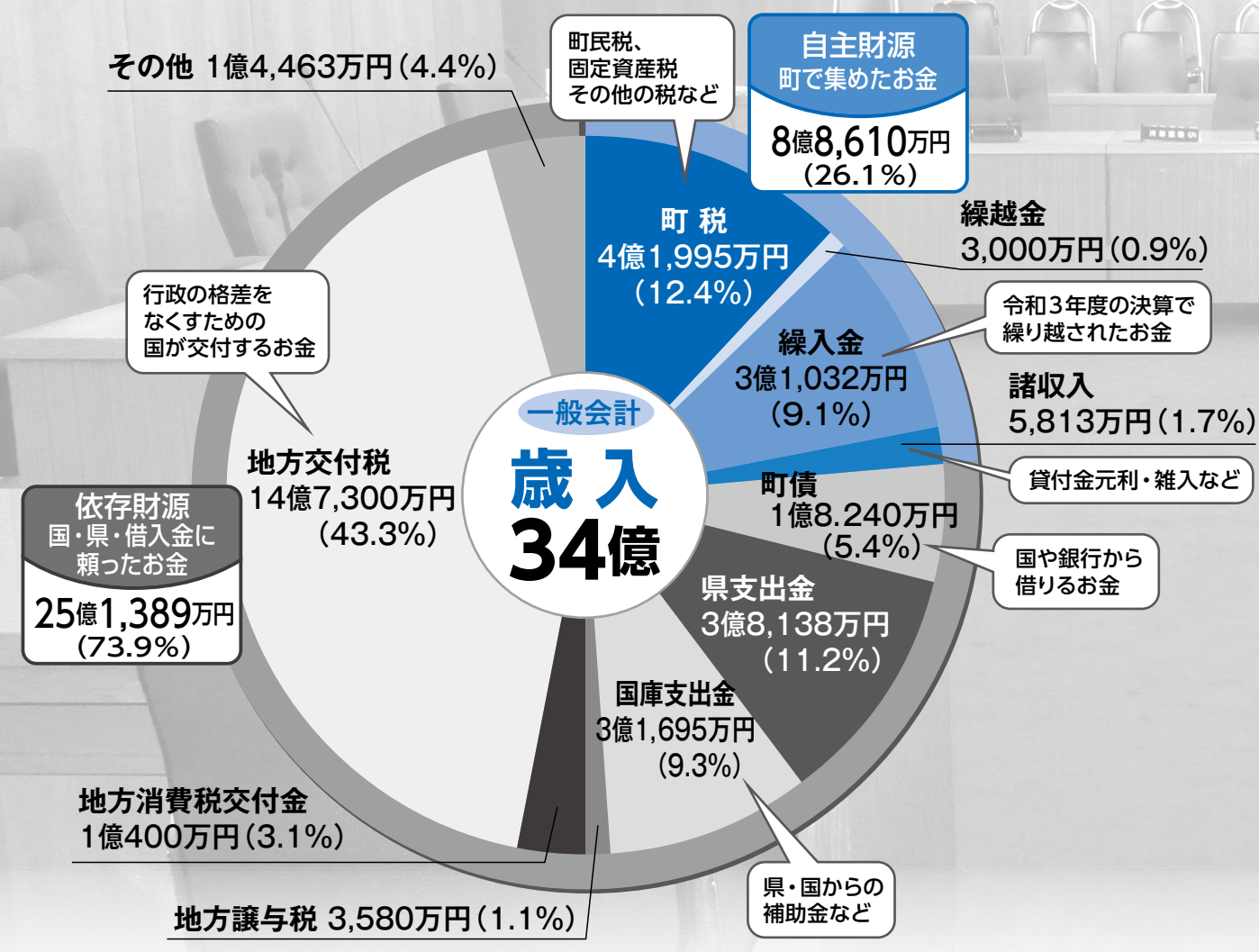
令和4年度
当初予算

いままでも、これからも、
関わりたい

住み続けたい
帰ってきたい 出雲崎

目指して

3月定例会(会期3月8日～15日(8日間))



※万円未満切り捨てのため、合計と一致しません。

令和4年度当初予算合計は **53億2,870万円**
(前年度比5.6% 2億8,250万円増)

一般会計 34億円 (前年度比 4% 1億3,200万円増)

特別会計 19億2,870万円 (前年度比 8.5% 1億5,050万円増)

特別会計

会計名	令和4年度	令和3年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	5億840万円	4億9,720万円	1,120万円	2.3%
介護保険事業	6億5,700万円	6億4,920万円	780万円	1.2%
後期高齢者医療	6,620万円	6,570万円	50万円	0.8%
簡易水道事業	2億3,130万円	1億6,400万円	6,730万円	41.0%
特定地域生活排水処理事業	1,220万円	1,210万円	10万円	0.8%
農業集落排水事業	9,970万円	1億3,490万円	▲3,520万円	▲26.1%
下水道事業	3億1,690万円	2億4,360万円	7,330万円	30.1%
住宅用地造成事業	3,700万円	1,150万円	2,550万円	221.7%
合計	19億2,870万円	17億7,820万円	1億5,050万円	8.5%

(▲は減額)

『第6次出雲崎町総合計画』スタート 子育て、教育をはじめとする新たな取組を進める

施政方針

令和4年度の最重点施策

- ①新型コロナウイルス感染症に対する取り組み**
 - ・小児から高齢者まで希望する町民が5月末までに接種を受けることができるよう進める
 - ・財源を確保し、疲弊している地域経済や町民生活への支援を継続し、迅速、適切に対応する
 - ②人口減少・少子高齢化への取り組み**
 - ・出産準備金と出産祝金を支給する事業を始める
 - ・子どもたちの学習意欲向上の支援として、公設の学習塾を開設する
 - ・未来への投資として、次世代を担う子どもたちを安心して子育てできる環境を着実に整備する
 - ③移住・定住人口、関係人口の増加に向けた取り組み**
 - ・第2期やまや団地の造成を進め、若い世代を含めた移住、定住人口の増加を目指す
 - ・コロナ禍による移住機運の高まりをとらえ、出雲崎の魅力を全国に発信し、関係人口の増加を図る
- 施政方針・・・政治を行うときの目的・方向・理念など。

健やかに笑顔で暮らせるまちづくり事業

- 幸せを運ぶコウノトリ祝金** 1,010万円
安心して子どもを産み育てられる環境を支援するため、出産準備金と出産祝金を支給
- 多世代交流館事業** 203万円
多世代交流館さがりが開館5周年を迎えるにあたり、各種イベントの充実を図る
- 屈折検査器導入** 124万円
3歳児健診視覚検査等において、弱視の早期発見・早期治療につなげる

安全で安心に暮らせるまちづくり事業

- 団地造成工事** 4,090万円
やまや団地第2期の造成工事、用地買収、下水道工事など
- 浄水場整備工事** 8,000万円
老朽化した川西地区浄水場の更新工事ほか
- 大門町営住宅建替事業** 1,160万円
大門第1団地の建替に伴う地質調査、実施設計業務委託、既存住宅の除却
- 消防団員報酬** 1,499万円
災害出動時の費用を費用弁償から報酬に組替え、班長、団員の報酬単価の改正
- 公式LINEシステム利用料** 108万円
町公式LINEアカウントを開設し、通報や災害時の情報などを配信する

地域資源・特性を生かした魅力と活力あるまちづくり事業

- 主食用米緊急支援事業補助金** 840万円
米の需要減少や米価下落等により、主食用米のJA出荷数量に対しての補助金
- 上野山地区別荘跡地整備** 161万円
別荘跡地を買収し、誘導看板や転落防止柵を改修して、妻入りの街並を展望できる広場を整備
- 心月輪指定管理料** 463万円
新たな指定管理者が行うレストラン及び売店業務を主とした施設の管理に対する指定管理料

夢を育み、誇りある歴史、文化を継承するまちづくり事業

- 公設学習塾事業** 826万円
子どもたちの学習意欲の向上と目標達成に向け、深い教養を身につけることを目的とした、学習塾を開設
- 船絵馬複製作成業務委託料** 147万円
羽黒神社で保存されている船絵馬等の複製を作成
- 良寛記念事業補助金** 550万円
10月の良寛堂建立100周年を記念して開催される全国良寛会出雲崎大会の開催に対する補助

多様な人が関わり、賑わいが持続できるまちづくり事業

- 結婚新生活支援事業補助金** 180万円
夫婦共に39歳以下かつ世帯所得400万円未満で新規に婚姻した世帯の住宅取得や引っ越し費用等を補助
- 空家等再生活用支援事業補助金** 274万円
新規事業の追加と補助率の嵩上げをし、空家バンクの登録促進を図り空家の利活用の充実を図る
- 地域おこし協力隊活動費** 1,422万円
地域おこし協力隊制度を活用し、地域の魅力を掘り起し、地域を活性化する取組

ここが聞きたい!!



高桑 佳子 委員長

3月定例会

予算審査特別委員会

令和4年度一般会計・特別会計は予算審査特別委員会に付託され、審議の結果、全会一致で可決しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。

町移住定住支援金

270万円

仙海議員

町のお試し住宅との関連はどうか。

総務課長

現段階ではお試し住宅が用意できておらず、良い物件があれば進めたいが、現在は移住された方と受け入れた集落に支援金を払っている。

地域おこし協力隊活動費

1,422.7万円

小黒議員

昨年度4名が活動を始め、現在は1名減の3名体制だが、新年度追加の募集はしないのか。

総務課長

現在の3名の活動が多岐にわたっており、サポート不足がないように現在の体制でしばらく状況を見極めたい。

空家等再生生活用支援事業補助金

274万円

宮下議員

海岸地域で網のかかった危険家屋について、今後どのようにするか。

総務課長

危険家屋については相続されておらず、役場職員では調査に限界があるため、新年度は外部に委託する相続人調査費を計上している。連絡先を把握し処理をお願いしていく。そうなる以前に転売等の対策がとれるよう利活用の充実を図っていききたい。

町・生活・交通先進連携事業(トリトンプロジェクト)

70.4万円

中野議員

具体的な活動内容はどうか。

総務課長

3年度に引き続いて運動機能測定その他、ブルランチキャンパスの対象を

幸せを運ぶコウノトリ祝金

1,010万円

加藤議員

少子化が進んでいるが、不妊治療に関する助成金はあるか。

総務課長

特定不妊治療費の助成として、県の支給にプラスして20万円を支払う事業を行なっている。令和4年度から保険適用範囲の拡大があり、状況をみて事業の拡大も検討していく。

敬老会報償

195.4万円

仙海議員

敬老会の記念品は75歳以上の出席者だけでなく欠席者にも配られるか。

保健福祉課長

4年度は欠席者に対しても郵送で配る予算を計上した。

海浜クリーン作戦委託料

1,325万円

加藤議員

海の漂流物が多く、きれいに保つためには回数にこだわらずに状況をみて実施すべきではないか。

産業観光課長

大きく、年に3回としているが、現場を確認して柔軟に対応する。



清掃が待たれる井鼻海岸

妻入りの街並展望広場用地買収費

90万円

仙海議員

非常に良い観光スポットと思うが、訪れた

方々がそこで景色を見ながら休んでいただけ、飲食でできる事なども視野にいられて整備の仕方を考えているか。

産業観光課長 町の観光を進めるうえで、意見を聞いて検討していきたい。



買収予定地

まち周遊イベント PR業務委託料

445.5万円

仙海議員 イベント内容の詳細と効果的なPR方法はどうか。

産業観光課長 キットを購入して謎を解きながら主に海岸地域を周遊してもらい、

商品に応募いただくイベントであり、TV・YouTube等で効果的なPRをしていく。



謎ときイベント

町道維持修繕工事

1,100万円

小黒議員・仙海議員 町道妻入りの街並み線について、石畳となつている部分の修繕は、歴史的な意味合いも含め、どうするのか。

建設課長 石畳には、ガタつきもあつてその都度対応しているが、今後どうするか対応を検討していきたい。

公設学習塾事業費

826.5万円

仙海議員 開塾の詳細はどのような予定か。

教育課長 新年度に入つて中学生に対し説明したうえで募集をかけ、5月の連休明けの開塾を考えている。週4日で平日は夜3時間程度、土日は午後の予定で、学習塾の方式を参考に具体を検討している。

スポーツマイレージ 事業特典

30万円

仙海議員 事業内容の詳細について説明が欲しい。

教育課長 町民の健康増進を図る新規事業であり、町民体育館を起点として参加状況に応じたポイントを付与し、町内で使用できる商品券に交換できるもの。

良寛記念館応援倶楽部 てまりの会補助金

45万円

高橋議員 発足した3年度は会員の恩典が多かったが、応援するという観点からの取り組みはどうか。

教育課長 てまりの会役員会で検討し4年度については、実に対しの盛り上げを目指し、会員研修の充実等を図っていく。

消火栓取替え工事

480万円

小黒議員 今後、老朽化した消火栓の取り替えは、放水口の高いものにしていくのか。

総務課長 雪の降る地域においては高いものに交換する。雪の少ない海岸地域は従来のものとなる。

議会のつづき (主なもの)

(令和4年1月〜3月)

1・5 議長会議(新潟市)

7 議会運営委員会

11 議会サロン(陽だまり)

12 議会報特別委員会

14 議会だより第114号

18 第1回全員協議会

↓詳細はp.20〜21

2・10 議会報特別委員会

16 議会だより第114号

28 第2回全員協議会

↓詳細はp.20〜21

3・8 議会運営委員会

9 3月定例会招集日

↓詳細はp.10〜11

10 議会報特別委員会

10 議会だより第115号

15 社会産業常任委員会

11 総務文教常任委員会

15 3月定例会2日目

(一般質問)

↓詳細はp.10〜17

11 予算審査特別委員会

↓詳細はp.6〜7

15 議会運営委員会

29 3月定例会最終日

19 第3回全員協議会

↓詳細はp.20〜21

15 議会報特別委員会

15 議会だより第115号

15 議会サロン(妻入り会館)

15 議会報特別委員会

15 議会だより第115号

決定した補正予算

※万円未満は切り捨て

会 計		補正額	補正後の予算額
一	般 会 計 (第10号)(専決)	5,402万円	36億7,991万円
一	般 会 計 (第11号)(専決)	3,593万円	37億1,584万円
一	般 会 計 (第12号)	1億381万円	38億1,966万円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第2号)	1,426万円	5億5,476万円
	介護保険事業 (第4号)	125万円	6億8,750万円
	簡易水道事業 (第2号)	8万円	1億7,746万円
	農業排水事業 (第1号)	1,713万円	1億5,203万円
	下水道事業 (第3号)	41万円	2億5,060万円
	住宅用地造成事業 (第3号)	20万円	1,699万円

令和3年度一般会計補正予算 (第10号・専決)

主な歳入	主な歳出
・住民税非課税世帯等 臨時特別給付事業費補助金 …………… 5,350万円	・住民税非課税世帯等臨時特別給付金 …………… 5,350万円

令和3年度一般会計補正予算 (第11号・専決)

主な歳入	主な歳出
・地方交付税普通分追加 …………… 1,144万円 ・新型コロナウイルス感染拡大防止協力金 交付事業補助金追加 …………… 2,149万円	・除雪委託料追加 …………… 1,200万円 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金追加 …………… 2,138万円

令和3年度一般会計補正予算 (第12号)

主な歳入	主な歳出
・地方交付税普通分追加 …………… 6,838万円 ・社会保障税番号制度システム整備費補助金 …… 273万円 ・県地籍調査事業負担金 …………… 4,050万円 ・ふるさと納税寄附金追加 …………… 200万円 ・市町村振興宝くじ市町村交付金追加 …… 341万円 ・県営中山間地域総合整備事業分担金 …… 193万円 ・地方消費税交付金追加 …………… 1,837万円	・公共施設維持補修基金積立追加 …………… 2,550万円 ・社会保障税番号制度システム整備委託料 …… 273万円 ・ふるさと出雲崎応援基金積立追加 …………… 200万円 ・県営中山間地域総合整備事業 負担金追加 (八手地区) …………… 580万円 ・地籍調査業務委託料 …………… 6,500万円 ・出雲崎高校応援看板設置工事 …………… 130万円

条例の一部改正 (主なもの)

出雲崎町子育てに支援に関する条例の一部改正

◆0歳児～1歳児未満に支給されているおむつ券 (月額 5000 円) を令和4年度から0歳児～2歳児未満までに拡充するための改正

出雲崎町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

◆消防団員の年額報酬を増額するための改正
班長 現行 33,600円 → 改正後 37,500円
団員 現行 22,800円 → 改正後 36,500円

人 事
案 件

固定資産評価審査委員の選任に同意

たま おき
玉 沖

かおる

馨 さん (桂沢)

(令和4年3月22日から3年間)

補正予算質疑

主なものから抜粋して掲載しています

(▲は減額)

3月8日

町デマンド交通

運行費補助金

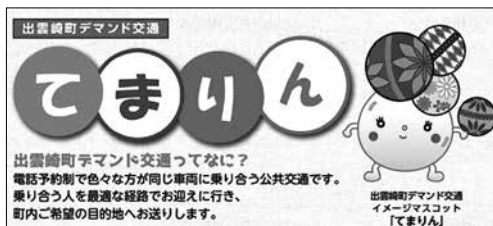
▲211.7万円

宮下議員

本町において移動手段を持たない方にとっては重要な施策である。減額の原因が分かれば対策がとれると思うが、なぜ減額になったのか伺う。

総務課長

コロナ禍で出かける機会が減少したことが大きな原因と考える。デマンド交通に限らずタクシー業務も同じく利用者が減っている。



利用者増加が望まれるてまりん号

町営住宅使用料

▲100.9万円

小黒議員

減額は、現在の空室の家賃分となるのか。

建設課長

当初予算を組む時には、その時の入居者の状況で見積るので、現在の空室の状況で減額となった。

町営住宅は72世帯分あり、現在66世帯が使用している。

町農業者経営支援事業補助金

▲263.6万円

小黒議員

出雲崎米のブランド化を目指す意味でも支援は大切と考えるが、減額となった理由は何か伺う。

産業観光課長

コシヒカリとゆきの精が対象の補助金であり、

定期予防接種委託料

▲117.3万円

仙海議員

定期予防接種は努力義務であり国が推奨するものである。

接種を希望しない方が増えているので減額であれば、町として積極的に働きかけるべきではないか。

保健福祉課長

子どもの対象者には接種してもらいように案内をしている。

高齢者のインフルエンザなどは見込みよりも少なかったので減額となった。

伝統芸能後継者育成事業補助金

▲10万円

高桑議員

利用者がいなかったのか。交付基準が以前から変わったのか。

ず利用しづらいので工夫するべきではないか。

教育課長 利用者がいなかったための減額である。



会を盛り上げる出雲崎おけさ

四季彩小路電飾設備整備工事

▲20.6万円

加藤議員

電飾が天領の里側からはよく見えるが、街並み側からはほとんど見えない。予算が余り減額するのであれば、街並み側にも飾り付けを行うべきではなかったのか。



華やかな電飾（四季彩小路）

地方交付税追加

6,838.2万円

中野議員

地方交付税の今後の見通しはどのようになっているか。

総務課長

地方交付税の算定基準は細かく決まっているが、国の施策等で変化がある可能性もある。現在はデジタル関係での交付がある。

建設課長 天領の里側から見えるようにし、お客を呼び込む目的と考えた。街並み側に電飾を行うと近所に眩しいと考えて配慮した。

1 宮下孝幸 議員



質問項目

1. この町のその先の財源確保について

🔍 詳細は11ページ

2 中野勝正 議員



質問項目

1. 町農業の取り組みについて
2. 第6次出雲崎町総合計画基本構想案について

🔍 詳細は12ページ

3 石川 豊 議員



質問項目

1. 町道妻入りの街並み線における消雪パイプの敷設について

🔍 詳細は13ページ

4 仙海直樹 議員



質問項目

1. 津波避難対策について
2. 伝統文化の保存について

🔍 詳細は14ページ



5 高橋速円 議員



質問項目

1. “情報難民” 解消について
2. “町内費（字費）”について

🔍 詳細は15ページ

6 小黒博泰 議員



質問項目

1. 農業への新しい取組と支援策について

🔍 詳細は16ページ

7 高桑佳子 議員



質問項目

1. 介護職員の処遇改善と人材確保、育成について

🔍 詳細は17ページ

8 島 明日香 議員



質問項目

1. 5～11歳以下の新型コロナワクチン接種について

🔍 詳細は18ページ

※一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています。

出雲崎町議会
YouTube チャンネル

3月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます➡





宮下 孝幸 議員

自主財源の確保を どうするのか…!

町長

歴史や自然・食文化などを活かし、 政治力を結集してやっていく…!

この町のその先の 財源確保について

宮下

少子高齢化による社会保障費の増大や、コロナ対策などで、国家財政も逼迫する中、当町も交付金依存度の高い自治体。そこで、町税収による自主財源は年度予算に対して20%前後と思うが間違いはないか。

町長

直近4年間の自主財源は26・9%、令和4年度では26・1%となっている。

宮下

町長はよく、財政は「入るを量って出をを為す」と言うが、国や県などの交付金や補助金依存度の高い当町にとり、国家財政も大変厳しく逼迫する昨今、今後交付金や補助金などの依存度を抑えた自治運営を行う事が必須であり当町独自の自主財源の「入る」を量っていく必要があると思うが、どの様にして当町の「入る」を量っていくのか。

町長

町税も諸般の事情から減額となり、厳しい状況もあるが、国や県状況を極め、特に過疎債などを有効に活用していく。更に将来負担比率0であり、これは、県内では刈羽村と当町だけだ。仮に今、抱えている借金を全て返してもお釣りがくる状態であり、財政は極めて安定しているからの確に行政運営を進めていく。

宮下

自主財源の乏しい小さな自治体にとっての、自主財源確保は喫緊の課題だと思う。私は過去から一貫して、余りある観光資源を最大限活用した人集う町「観光立町」を提言してきた。では、今後の観光人口、交流人口の推移をどの様に考えているのか。

町長

観光も転換期であり、今までの形式は過去のものになりつつあり、歴史や自然、食文化に光を当て、社会動態を見極め出雲崎などの観光立町を目指す。

宮下

当時ただの浜辺であつたあの地に、多くの浜茶屋や魚屋市場が立ち並び、一大観光地となった寺泊。無いものなら創つても観光は起きる。観光立町は、新たな産業や雇用を生み、必然的な経済循環をも起こし、町財政への貢献をも期待される。観光資源を活かした「観光立町」に政治生命をかけるつもりはあるか。

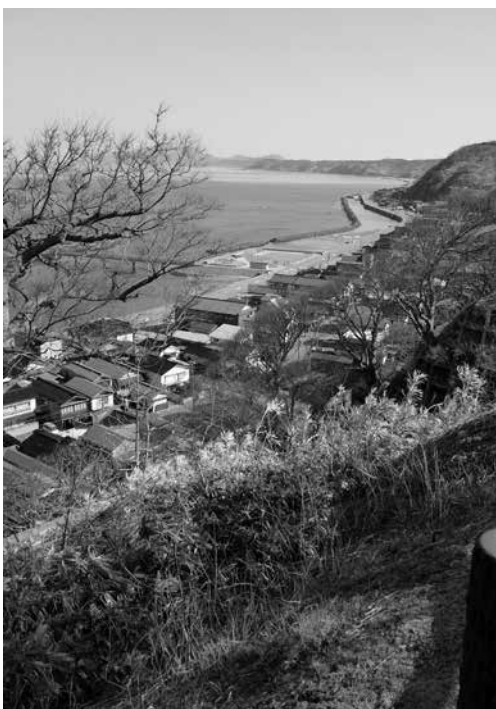
町長

観光は地域の活性化につながる。良寛や金銀荷揚げ、芭蕉など、多くの観光資源に恵まれているが、

宮下

私は、平成12年の一般質問でも、この観光発信の提言をしているが、余りある観光資源、これからの町づくりには個性が必要。この町の持つ特性を最大限に活かし、他の追随を許さない、他がうらやむ、この町にしかない、町づくりとなる事を切に願っている。

しかし、これからは、それだけでは無く、併せて町の様々な食文化を活かした観光を発信して、出雲崎に来て頂ける様な町づくりに真剣勝負をかけ、政治力を結集してやっていく。



豊富な観光資源活かし、この町未来を救え!

町が本部隊で 農業生産法人を！！



中野 勝正 議員

町長

県・JA・専門的立場の関わる
いろいろな組織の人達から
参画をいただく

町・農業の取り組み

中野

産業観光課より、農業生産法人の検討会を立ち上げるとの説明があり、内容は集落の現状と問題点を把握し、安定した農業経営を目指すには、法人化の目的や意義を明確にして集落関係の農家や関係機関、専門家で構成する検討会を立ち上げるとの説明がありこれについて町長の考えを伺う。

出雲崎町の置かれている状況

町長

関わる人、あるいは立地条件とか経営面積とか非常に雲崎町の農業形態は多様な状況の中、こういう組織がいいのか、しっかりと所見を伺え進めて参りたいと考えている。

任意組織について

中野

私の集落で任意組織を立ち上げるにおいて役場関係、農協関係、集落の個人の所にいったり大変な労があった。

私は町がトップになり、一括で管理出来るようにまとめていただきたい。町には、農業委員、農業推進委員、産業観光課の農業担当、協力していただける方、組織は整っている。町として農業生産法人を作っていただきたいと思うが、考えを伺う。

町が農業公社

町長

究極においては、町が農業公社を立ち上げて中心的な役割を果たしながら組織を作るという時期も参る可能性もあるが、その前の段階でやはり生産者が本気に取り組んでいただけるように弾力的に対応する。私はやはり、今一生懸命やっている方がいるので今申し上げる半農半xとい



所得アップの検討会

うのを国が進めている中で多様な取り組みをしながら進めているので、今、一気に農業公社まで飛躍するということは可能ではない。

第6次出雲崎町総合計画 基本構想案について

町長

審議委員の皆様が
確かめながら答申された

中野

全員協議会において第6次出雲崎町総合計画基本構想の案が示された、その中で第5次出雲崎町総合計画基本構想が審議会で検証されたかと質問したところしていないとの答弁。私は、検証されてから第6次出雲崎町総合計画基本構想に入るべきと思うが、考えを伺う。

中野

第6次出雲崎町総合計画の評価を1年度ごとに評価していただけるように希望する。

町長 課長答弁はともあれ第6次出雲崎町総合計画を立案するにあたって、委員各位におかれては、5回にわたって審議している。その人達はほとんど構成は変わっていない。審議委員の皆様はしつか



町総合計画審議会会議



石川 豊 議員

町道妻入りの街並み線に 消雪パイプの敷設を

町長

現段階では 検討する余地はない

消雪パイプの敷設について 検討する考えはあるか

石川

近年の大雪による除雪において、町道妻入りの街並み線は、狭い幅員で且つ雪の捨て場もほとんどない状態であり、高齢化率の高い海岸地域では、除雪された雪の後始末をするこ

とさえ困難になってきている状況である。
また、一定の積雪になると結局のところ、排雪作業をしなければならなくなり、排雪作業が終了しないうちに緊急車両を必要とする事態が生じた場合、速やかに対応できないことも出てくるのではないかと大変危惧している。

更に、敷設による効果として、町道妻入りの街並み線の機械除雪は、時間的にかなり大幅に短縮されるわけで、その分、児童生徒の通学路や西越地域の主要な町道に、除雪資源を集中的に投入することができ、効

率的・効果的と考える。何故なら、除雪作業は時間と

敷設について、検討する考えはあるか、また過去において検討したことはあるか伺う。

諸般の課題を考慮し 検討する余地はない

町長

今出雲崎町は取水口を持っているが、妻入りの街並み線3.5km消雪するには1分間に1トンの井戸を必要とし、7本の井戸を用意しなければならぬ。しかも海側の15cm程度の側溝で排水処理能力の問題や、玄関が道路より下がっている家屋もあり、そこに対する影響も考えなくてはならない。

また、海岸地区の井戸は塩分を含んでおり、掘削した方がいいが、石油やガスが出たら大変なことになってしまう。

コントロール装置等々を含めると約2億5000万円から3億円の投資をして

までも、以上の理由により、敷設は検討の余地は今のところはない。

海岸地区の生活に支障ないよう、除雪については万全を期して行う。

速やかな排雪作業を要望

石川

積雪は季節的要因であるが、除雪してもらいたいときに除雪車がなかなか来なければ、住民生活に

支障きたすわけで、安心安全を担保するため、敷設について検討することを再度質したが、検討の余地はないとの答弁。

検討の考えはないと言うのであれば当分の間、機械除雪に頼らざるを得なくなるが、海岸地域住民の声を代表して積雪が基準以上・十分に達したときは、可及的速やかに排雪作業を行うことを強く要望し、質問を終了した。



町道妻入りの街並み線



仙海 直樹 議員

万が一の津波に備えて

町長

住民の命と暮らしを守る 絶対的な責任がある

最適の避難方法は

【仙海】町のハザードマップによると、海岸地区の津波到達時刻は5分～10分である。このことから考えると、どのような避難の仕方が最適と考えるか伺う。

【町長】住民各位から避難所を確認し、身近な高台に退避してもらう。

避難訓練をしているので津波到来のときには、どう対応すべきか前もって確認をしておいていただきたいと考えている。

雨風をしのげる場所を

【仙海】鳴滝町や勝見等の高台の避難場所には雨風をしのげる場所が無い。いつ起こるか分からない災害に備えて整備する考えはないか。

【町長】29ヶ所ある高台の避難場所の内、8ヶ所は雨



雨風をしのげない高台の避難場所 鳴滝町裏山

風をしのげる場所がないが、今のところ、整備することは難しいと考えている。

避難訓練の期間を 設けみては

【仙海】一日限りの津波避難訓練だと参加できない方もいる。

津波避難訓練期間を設けて各家庭等で高台の避難場所に一度は行っていたら、課題を収集してはどうか。

【町長】避難訓練に参加できなくとも、自分の足や目で確認をして、『津波が来たらここへ逃げる』というようなことを、実際体験してもらいたい。私は必要ではないかと思っている。

伝統文化の保存に力を

町長

継承できる体制づくりをしていく

現状をどう考えている

【仙海】本町には、おけきや太鼓等の伝統文化がいくつかあるが、後継者不足により保存や継承に不安を感じる。町長はこの現状をどう考えるか。

【町長】私も同感であり、コロナ禍が収束された段階において、出雲崎古来の伝統ある風物的な、ものをしっかりと継承できるように、体制づくりをしてまいらなければならないと考えている。

地域部活動との連携は

【仙海】中学校では、部活動が令和5年度から段階的に地域に移行される。土日の活動についても、普段と違う活動を行っている

よい。おけきや太鼓・三味線等の伝統文化と繋がることを行うことはできないか。

【町長】スポーツだけではなく伝統芸能についても、外部からの指導者によつて皆さんと一緒に学び、活動してもらいような方法を、国の制度とタイアップしながら柔軟に対応していきたいと思う。

大々的にイベントを

【仙海】コロナ収束後に伝統芸能を中心としたイベントを開催する考えはないか。

【町長】私は、そのようなものが何とかできないかと思っています。

もう一度、しっかりと復活させながら、発表する機会も併せてつくりながら、ぜひやってみたいと思っている。



高橋 速門 議員

空き家の町内費（^{あざひ}字費）について もっと町民に寄添えないのか？

町長

理解はするが 個人情報保護法がある

現場の区長は
苦悶している

高橋

各町内（集落）の

空き家のなかで町内費（字費）を払っていただけのお宅がある。個人情報保護法から区長が情報を役場に求めても一切却下されている。町内と良好な関係ができていない空き家のお宅がある一方、上手くできていないお宅がある。町内費は各集落では大事な財源だ。区長は町内を統括する一方、町から要請されている各種寄付金はもとより街灯の電気代金など町内の安全、環境保全のため重い職務を担っている。区長の苦悶に對し善処する意思はないか。

情報提供ははばかる

町長

個人情報情報においては行政が知り得た個人情報

を漏洩し、不当な目的に利用してはならない一項がある。平常時は情報提供ははばかる。

もっと町民に
寄添えないか

高橋

区長は役場組織の最前線の大事な役職だ。町は「世帯全員転出時の聞き取り調査」を転出時に空き家所有者から頂いているが、その内容をもっと町民の側に立ってその町内への協力や親睦を深めるお願いができないか。

法があるが、
検討してみる

町長

行政区長の責任には理解するが、法がある。ちよつと検討する。

情報難民(町の施策が町民に届いていない) の解消を急げ

町長

本年度スマホ教室は適切に開催する

町の施策が
町民に届いていない

高橋

議会サロンで感じることの一つに行政情報が

町民に伝わっていないことがある。この際スマホを使つてもっと広める必要がある。恩典をつけてはいいかか。

恩典は不公平

町長

既に使っている方々と不公平になる。

デジタル化推進計画策定は
いかがか

高橋

デジタル化を推進する計画策定はいかがか。

早まっては駄目だ

町長

国の方針が定まつてからでよい。



スマートフォンで
町ホームページをみる

農業への新しい取り組みと 支援策



小黒 博泰 議員

町長

JAとのつながりを 構築していく必要がある

町長 組織については、いろんな方式がある。農事組合法人、会社法人の内容には、それぞれメリット・デメリットがあるわけなので、しっかりと各農家の代表の皆さんなり、専門的な立場の人など、いろんな人から中へ入っていただき、十分検討をしていただくことになる。簡単に結論は出ないと思うが、じっくり進めさせていきたい。それぞれ組織には、良い点も悪い点もあるので、あらゆる角度から検討を願

あらゆる角度で

検討を願いたい

会社法人と
農事組合法人の
どちらを考えているか

小黒 新年度新規事業として、中山間地域に適用した農業法人設立に向けての検討会組織を立ち上げると、2月の全員協議会でも一部の説明を受けたが、詳しく説明を伺いたい。

法人には、会社法人と農事組合法人の2つ考えられるが、町はどちらを考えているのか。

町の素案があっても
良いのでは

小黒 町で法人組織を設立するのがベストと考える。今農業に従事されている方々は、収入、経営方法等を個人で管理し自由に使用できるが、法人組織になればそれは難しい。農業従事者で検討しても、結論はないと考える。町の方向性のような素案が必要と考えるが。

いたい。

白紙の状態を検討いただく

町長 現在の集落営農の状況から考えると、将来的



に行き詰る段階である。耕作者の皆さんの考え、意見を出し合いながら組織を検討する必要がある。原点に立ち返って、本当に白紙の状態を検討していただく。

農家経営支援の
反4千円支給の中身は

小黒 広報の新年の挨拶に、農家経営支援として10アール当たり4千円支給とある。しかし、新年度予算には該当する事業が見当たらない。事業の中身と支給は全農家が対象なのか。

JA出荷米1俵に
500円を支給

町長 この制度を立ち上げる支援策についてはいろいろな表現をしてきたが、施政方針で述べたことが基本であり、米の需要減少に伴う米価下落等に対する農業者への支援として、主食用米のJAの出荷数量に応じて補助金の支給をしたい。10アール当たり4千円とは、コシヒカリで反8俵を基準に、1俵500円で4千円と表現した。施政方針で述べたように、

JAに出荷した米に対して1俵500円を支給したいことが基本になっているので、ご理解いただきたい。



JA出荷以外の支援は
できないか

小黒 農家の皆さん全員が、全量JAに出荷しているわけではない。

町の農地を守り、特産品として販売し、農業経営や生活のために収益確保に努力している。JA出荷米以外にも支援はできないか。

JAとのつながりは
しっかりと

町長 出雲崎町農業形態においては、JAとのつながりはしっかりと構築していく必要がある。JA対公共自治体あるいは組合員との関わりを持つときにおいて、基本的にはJAに出荷した米に限定させていただく考え方である。



高桑 佳子 議員

介護人材の確保と育成、 処遇改善を

町長

特定の支援は考えていない

高桑

少子高齢化が進むなか、介護の現場では人手不足が続いており、国・県・町ともに対策を講じてきたが状況はさらに深刻になっている。団塊の世代全員が75歳以上となる超高齢化社会、いわゆる2025年問題が目前に迫っており、地域の実情に即した出雲崎町なりの改善策が必要と考える。

「やすらぎの里」については移転新築が計画されているが、どのような予定か。

町長

本町の高齢者福祉の拠点とされてきたが、令和4年には40周年を迎える。老朽化が顕著となったため、法人としては、デイサービスセンター紙ふうせんの隣接地に令和7年度に着工、8年度竣工を目指している」と聞いている。

当町独自の処遇改善を

高桑

他の業種と比較して介護職員の給与は低いと言われている。処遇改善や

コロナ禍において一律の支給もあり、対策は取られているようだが、実際には対象とならない職種もあり、法人としては、その調整や公平な支給に配慮する等で現場の介護職員の実感には薄い。

新規就職者については、町独自の確保支援として最高30万円の支援金があり、一定の効果があるが、全額返金してでも辞められた方もおり、中堅職員には届かない支援でもある。

介護職員の求人は近隣地域でも競争で、独自の処遇加算を行なっている自治体もある。出雲崎町が就職先として選ばれるためには、当町独自の処遇改善加算を打ち出すべきではないか。

国や県の動向を 把握しながら

町長

町独自の確保支援金は、3年度末までの期限措置だったが5年間延長することとした。国は収入の3%を引き上げ、県も処遇改善を図る取り組みに対する支援を実施している。今後、その施策の動向等把握

しながら、働きやすい職場環境に必要な支援を検討していきたい。

PRに協力を

高桑

当町の高齢者福祉の受け皿として、どれほど多くの役割を担っているかを考えた時、介護職員さんたちの頑張りを認め、町が期待して処遇改善加算で応えることが一番ではないか。

それに従来の若者支援制度等を加えて、もっとPRしていくべきと考える。

長岡市のHPは高齢者・介護のページには、目立つ場所に「介護の仕事に興味のある方はこちらをクリック」とあり、利用できる制度やお金の事を詳しく説明している。町のHPでも、介護職員確保のPRに協力するべきではないか。

事業者と協調して

町長

町のHPから求人情報へのリンク、広報の広告欄掲載や各公共施設にポスターの掲示をする等の可

能性があり、事業者からも努力していただき、協調しながらやっていく。

外国人材の受け入れは

高桑

介護職員の人で不足を補うため、技能実習生を受け入れる準備が進んでいるが、町として町営住宅を提供できないか。

他の法人と平等に

町長

町としては、空き家物件の情報提供を考えており、町営住宅の提供はない。他の企業でも外国人材を受け入れる体制を取っており、平等に取り扱っていく。



現在のやすらぎの里

小児の新型コロナワクチン接種 安心して迷える状況を



島 明日香 議員

町長

正しい情報の周知に努め、 接種を勧める

第1回 5～11歳以下
新型コロナワクチン接種の様子

接種に対する 町長の意思は

島 偏った情報や不確かな情報が飛び交うなか、子どものワクチン接種についての判断が親に委ねられている。子どもの将来を考え、ワクチン接種をどうしたらよいのか判断に迷っている親御さんのためにも、安心して迷える状況を町長が率先してつくってほしい。

一人でも多くの方から
接種を受けてほしい

町長 本町としては、国の方針に基づき速やかに接種を開始できるよう準備を進めている。県内でも小児の感染割合が高いため、正しい情報を周知することにより、より多くの方から接種を受けてほしい。

子どもや若者の 命と健康を左右する 大切な判断

島 調査票の提出期限が短かった理由と、意向調査時点で判断材料としたい提示物が無かったことについて。

努力義務の規定が適用されない理由は、「今あるデータはオミクロン株出現以前の知見であり、発症予防効果や重症化予防効果に関するエビデンスが十分でない」と厚生労働省が発表しているためである。どの資料を見ても接種を勧めるものが多いなかで、知り得た正確なデータに辿り着くには、いくつかのリンクを開く必要がある。接種した場合としない場合を比較せず、接種した場合のメリット・デメリットを正確な情報と共に提示することが、公平な情報開示ではないか。接種の速さや接種率を他の自治体と競うものではないので、町からの同調圧力がないよう慎重な発言に心がけてほしい。

追加で資料を配布・開示 ご家族で話合ってください

町長 小児科医がいない本町としては、早急に長岡市等との調整が必要だったため、提出期限が短くなった。

調査結果は、接種希望者が64名、希望しない方が43名、検討中が61名、未提出が9名であった。

追加の資料や情報も含め、ご家族でよく話合ってもらい、その結果、意向が変わる場合にも柔軟に対応していく。

接種の有無による差別禁止も 重要事項として明示を

島 感染症患者やそのご家族等はもちろん、ワクチン接種の有無による誹謗中傷、人権侵害、いじめにつながる行為の禁止について、啓発ポスター作成や広報等で重要事項の一つとして明示してほしい。

過度の啓発は必要ない

町長 防災無線や全戸に文書も配布してきた。今後

も十分周知撤退を図っていく。

校長会議にて 教材の情報提供

曾根教育長 進んで教材を活用することで誤解を招かないようにしたいところだが、児童生徒からワクチン接種に関する声が上がった時には、一緒に勉強をする学校でも家庭でも考えていただけるよう慎重に対応する。

島 経済的な子育て支援も有難いが、不安要素の一つでも取除き、子どもたちや親御さんが精神的にも安心して子育てができる町をつくっていただきたい。

第1回 5～11歳以下
新型コロナワクチン接種会場の様子

表彰



初心を忘れず

このたび15年表彰をいただきました。
これまで支えてくださった皆様にこころから感謝いたします。

これからも初心である“町民の皆さまと同じ目線で、見て、聞いて、発言行動します”を忘れず、出雲崎町の発展のために全力で尽くしたいと思います。

皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

高橋 速円

議会サロン今後の予定

開催日	時間	場 所	担当議員	
4月23日(土)	午前10時 ～正午	ホッと情報館 陽だまり	三輪 正	中野 勝正
5月28日(土)		妻入り会館	宮下 孝幸	加藤 修三
6月25日(土)		ホッと情報館 陽だまり	仙海 直樹	高橋 速円
7月23日(土)		妻入り会館	高桑 佳子	小黑 博泰
8月27日(土)		ホッと情報館 陽だまり	島 明日香	石川 豊

議会のことや町への要望
など、ぜひ、この機会に
お聞かせください。
顔を見に来ていただける
だけでも嬉しいです。



※多世代交流館きらりや新津
邸等での開催は決定次第で
案内いたします。

令和3年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支 出 内 訳					合 計	返 納 金
		調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	事務費		
三輪 正	60,000	2,620	0	0	53,172	11,880	67,672	0
加藤 修三	60,000	2,620	0	0	6,912	64,454	73,986	0
仙海 直樹	60,000	0	0	0	20,052	45,612	65,664	0
高橋 速円	60,000	4,540	0	0	48,000	12,880	65,420	0
中野 勝正	60,000	4,986	0	0	18,372	46,971	70,329	0
高桑 佳子	60,000	0	28,500	0	21,132	13,163	62,795	0
宮下 孝幸	45,000	0	0	0	57,323	11,487	68,810	0
石川 豊	45,000	2,620	37,750	0	9,728	10,910	61,008	0
小黑 博泰	60,000	5,426	0	0	21,012	37,530	63,968	0
島 明日香	45,000	3,066	500	3,060	3,080	36,390	46,096	0

月額5,000円×令和3年度活動月数(12カ月)で交付

※新任議員3名は、月額5,000円×9カ月(令和3年7月～令和4年3月)で交付

全員協議会

1月～3月開催分

主なものから抜粋して掲載しています

小学生児童の
通学路について

小黒議員 川西ひまわりハウスから通学する児童の通学路の除雪体制はどうなっているか。

建設課長 河川堤防は除雪路線にはならず、管理者の県が除雪することも難しい。地元の方で除雪をしてくださる方がいれば最良であるが、通学時間帯に合わせて行うことも難しい。当面は歩道除雪車に対応する。

加藤議員 私の町内では十数年ぶりに児童が入学するが、自宅とスクールバス停留所が離れていることに対する対応はどうか。

教育課長 尼瀬地内に新たなスクールバス停留所を設ける。

新型コロナウイルス感染症
に関する町の対応について

小黒議員 抗原検査キットを町内の薬局や医院で入手できる対応はとれないか。

町長 PCR検査を当町で実施することは難しいが、薬局にも検査体制を整えられるか県に確認をする。

住民税非課税世帯等
に対する臨時特別給付金
の支給について

総務課長 住民税非課税世帯が52世帯、家計急変世帯が10世帯を想定している。課税の情報に基に抽出した対象世帯に対し確認書を送付し、返送いただいた方から指定の銀行口座へ振込む。家計急変世帯については、町で把握することは難しいため、ある程度期間を設け随時お知らせをし、本人申請に基づいて支給をする。財源は全額国費で、令和4年度に事業を繰り越して実施する。

島議員 家計急変世帯10世帯の数の根拠と、住民税非課税世帯からの申請有無を把握することはできるか。

総務課長 例えばコロナ禍で一ヶ月分の給料がゼロになったような方については、町で把握が難しいので情報発信に努める。確認書を送付した方については、申請の有無は確認できるが、扶養になつていないか否かは確認ができないので、確認書にチェックを入れて返送いただきたい。

幸せを運ぶコウノトリ祝金
事業について

子ども未来室長 令和2年度から5年間を事業期間とし、出産準備金は30万円、出産祝金は20万円を支給する。現段階では5年以内の転出について祝金の全部または一部変換を求めることとする。また、団地関係の営業やイベント、多世代交流館で実施しているSNSに公表し、広く町外に向けてPRする。

仙海議員 令和2年・3年度の支給人数は何人か。

子ども未来室長 現段階で把握している人数は、令和2年度が9名、3年度は7名が出産予定、0歳児で2名が転入見込み、計18名を予定している。

大門町営住宅の
建て替え事業について

建設課長 令和4年度は地質調査と建築設計を予定。2戸長屋でアスファルト舗装の集合駐車場を設ける。戸建ても検討したが、2戸長屋の方が18世帯分で約900万円経費的に有利となる。建て替え工事の計画は、令和5年度から5カ年を予定している。

中野議員 事業をもっと前倒しできないか。



公営学習塾について

建設課長 5年計画だと仮住まいしていただく方が最小限の2世帯で可能との試算が出ている。

教育課長 対象者は出雲崎中学校生徒とし、多世代交流館ざらりにて、定員は概ね30名を予定している。学習内容は主要5教科の講義とし、中学校での基礎学習をはじめ受験対策にもつなげたい。平日2日間と土日に約2～3時間の勉強時間を確保する。受講料は無料とし、テキスト代別途個人負担していただく。講師については、教育委員会に籍を置いている近藤管理指導主事を中心に、中学校を退職された必要に応じた三者面談を行ったため、保護者のご協力も得たい。



高橋議員

育ち盛りの腹にも力が入るようフードも応援する考えはあるか。

町長

町塾には期待している。テキスト代も上限を決めて町が負担する方針で進め、フードに関しては内容を詰めながら対応したい。

仙海議員

一対一で勉強を教えてくれるのか等、講師体制についての検討も望む。

教育長

町塾開設の背景には、全国学力学習状況調査の当町の中学3年生と6年生の学校外での学習時間が全国・県に比べて非常に短いという結果にある。当町の児童生徒の学校での様子を見ていると、学校外での学習環境をさらに整えることで、計画的に学習を進めたりやる気を出せることが分かるので、学習におもしろさを見つける機会をつくる一途にしたい。

来庁者に対する

職員の対応について

石川議員

窓口対応等、職員への指導について聞く。

総務課長

常日頃から所属課長を通じて各職員に対し指導をしている。今後も住民の皆様のために努力していく。

町住宅リフォーム

助成金について

中野議員

助成金の交付は1回限りであるが、制度を見直す考えはあるか。

建設課長

同一住宅につき1回を継続していくが、状況に合わせて、新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援助成金制度も活用してほしい。

ネット詐欺に対する

注意喚起の徹底について

高桑議員

詐欺の具体的な手口を周知する機会や時期、相談窓口についてどのようにするか。

町民課長

ホームページや広報紙にネット詐欺事例や注意喚起の記事などを定期的に掲載する。また、高齢者を対象にネット詐欺を中心とした啓発講座を計画したい。

JA農産物加工施設の

今後について

産業観光課長

小木地内にあるJAの農産物加工施設と貯蔵施設で、特産である梅干しや味噌、麴の製造や販売をしていたが、原料の入荷が不安定、加工品の作りが年々減少し、採算ベースに合わないことから、今年度をもって加工事業を撤退したいと申し出があった。また建設後36年ほど経過しており、施設を利用したい方がいなければ解体し、地主に返す予定である。

小黒議員

特産品を作りたいと思っている町民の方のために貸し出すなどの対応はできないものか。



産業観光課長

町が管理するには、借地料のほか改修費用等がかかるため、譲渡を受ける考えはない。しかし、生産者や新規事業を立ち上げたい方がいれば、新しく建設をする方向で検討している。

防災行政無線チャイム

について

高橋議員

コロナ禍で暗いニュースが続いている昨今、気分一新、ラジオ体操第一の冒頭部分を流すなど、新しい楽曲で新年度をスタートしてはどうか。

総務課長

4月から朝と夕方のチャイムを変更するという案も検討しているので、お楽しみに。



時折、 町外の方から
「出雲崎って
長岡？柏崎？」と聞かれ
ることがあります。たし
かに小さくて人口も少な
い地味な町かもしれませ
んが、ネームバリューの
無さに涙が出ます。

そんな我が町ですが、
地域おこし協力隊の皆さ
んを始め、移住者の方々
のお力添えで、徐々に変
わりつつありますね。実
際に私もイベント等へ参
加させていただき、とて
も有意義な時間を過ごせ
ています。その度に出雲
崎はまだまだ伸びしろあ
るなあ！と感じておりま
す。

自分の生まれ故郷が、
誰かにとつての第二の故
郷と思ってもらえるよう
な、より魅力ある街へ進
化していく過程を、この
目に焼き付けたいです。
その過程で、微力なが
ら自分も役に立てたらと
思っております。

みんなの声

のびしろ

稲川

ふるや けんた
古矢 剣太 さん



表紙の小話

港に春が来た

時化^{しけ}の続く長い冬も3月に
入ると、ようやく風の^{なみけ}日が訪
れ、船も漁に出られるようにな
ります。

久しぶりの漁とあつて、荷
捌き所は活気が戻ってしまし
た。写真撮影当日は、サザエ、
鯛、カレイ、甘エビ、まだら
など数種類の魚介がセリにか
けられていました。

その昔は、4月下旬から5
月初めにかけて鰯漁が盛んに
おこなわれていました。

民謡「出雲崎おけさ」のは
やし文句の中に、

♪春はいわしで

大漁の浜よ

と歌い継がれているとおりの
浜風景でした。

ある漁師の方に話を伺った
ところ、「温暖化の影響かど
うかは分からないが、海水温
が上がって季節に合った漁が
できない。尚且つ、いそみ漁
師を含み高齢化が進み、継承
者不足と相まって、漁業の先
行きが心配です。」と寂しそ
うな顔が印象的でした。

(石川 豊)

編
集
後
記

新年度がスタートし一カ月が
たちました。

皆さんの中には新しい生活を
始められた方もいるのではない
でしょうか。

春は出会いと別れの季節で
す。本来ならば、歓送迎会など
が行われるところですが、新型
コロナウイルス感染症により、
自粛される方が多いようです。

コロナ禍に入り3年が経ち働
き方を始め、伝統行事など、
様々なものが変わっていくよう
に感じられ不安を感じます。

変えるべきものは変えなけれ
ばなりません、守るべきもの
は、しっかりと守り受け継いで
いかなければなりません。

延期や中止もよいのですが、
知恵を絞り工夫をしながら実施
できればと思っています。

(仙海 直樹)

議会報特別委員会

委員長 高桑 佳子
副委員長 石川 豊
委員 仙海 直樹
委員 小黒 博泰
委員 島明日香